

福岡地方裁判所直方支部 直方市立植木中学校への出前講義

—アンケート結果— ※一部抜粋

裁判官の話を聞いて

- ・ただ人を裁くのではなく、その人が未来へ正しく歩いていけるように背中を押すのが裁判官という仕事なのだろうなと思った。
- ・裁判官のお話を伺って、中立な立場で考え、判断することがいかに難しいかが分かり、司法にもっと関わっていきたいと思った。
- ・様々な証拠や証言をもとに「公正」な判決を下す裁判官の仕事は大変だけど、とても魅力のある仕事だなと感じた。

模擬裁判を通して考えたこと

- ・自分の考えだけでなくクラスの人と話し合うことではっきりした答えが出たので、裁判を通して意見交流の大切さがわかった。
- ・実際に、模擬裁判を体験して、裁判員制度の目的である「裁判を身近に感じる」ことができました。
- ・同じ判断をした人でも感じ方や考え方が違うところから「知りたい」という気持ちが強くなり、とても楽しく話し合うことができたのでとてもよかったです。

実際に裁判員になりたいと思いますか

- ・なってみたいです。人の人生を左右してしまう重大なことだけど、その重大さを分かったうえで、判断に参加したいと思ったから。
- ・まだわからない。だけど、裁判員についての説明を聞いて、裁判員に対する堅苦しい感じがなくなり、前の時よりも、もっと接してみたいと思うようになりました。
- ・なってみたいと思いました。友達と有罪・無罪どちらなのかを話し合うのが、とても楽しかったからです。また、模擬裁判を通して司法を身近に感じることができ、司法に関わる仕事に興味をもったからです。
- ・興味はあるけど責任という点で人生経験などが足りないと思うからなりたいたいは思わない。もう少し成長してから裁判員になって、裁判に協力したい。